進取挑和

雲南市立 三刀屋中学校

～思いやりをもって 自ら進んで 挑戦していく学校～

生徒会　スローガン

体育祭

今年度生徒会活動について

生徒会長 武繁 遼人

生徒会のスローガンは『進取挑和～思いやりをもって自ら進んで挑戦していく学校～』です。このスローガンのもと、三刀屋中学校の生徒会活動は、生活、美化、文化、保健、体育、図書、福祉、執行部の8つの委員会で行いました。月1回の委員会活動では、正副委員長を中心に、一人一人が仕事に対し意欲的に、しっかりと取り組みました。また、それぞれの委員会が別々に活動するのではなく、学校全体で活動していくために、月1回の役員会を行い、各正副委員長が集まって活動報告や反省を共有する場を設けました。

執行部では、体育祭や文化祭等の行事の運営に加え、新たに挨拶運動や自転車鍵かけ運動にも取り組みました。これらの活動については、以下詳しく紹介します。

8つの委員会が生徒会スローガンを胸に、1年間活動してきました。困難に負けそうになる場面もあったと思いますが、みんなで支え合い、互いに補い合って乗り越えられたと感じています。これからも、よい伝統として引き継いでいきたいと考えています。

体育祭について

副会長 岩﨑 翼

体育祭のスローガンは、『SHIN 呼吸！ 新・真・進― 青春No・1の思い出をつかもう』です。このスローガンには、今年ならではの新しい体育祭にみんなが真剣に進んで取り組んでいこうという思いが込められています。

今年は赤組と青組の2色に分かれて体育祭の準備をしました。色組を決める色決め集会は、例年体育館で盛大に行っていますが、今回は密を避けるために移動を極力しない形で実施しました。赤組は「一心烈日」をテーマに、太陽のように一人一人が輝いて、色組が団結することを目指して取り組みました。また、青組は「飛竜乗雲」をテーマとし、一人一人が力を出し合って、チーム一丸で優勝できるよう取り組みました。

感染症拡大による様々な行事の中止のニュースもあり、本校の体育祭開催も不安な中でしたが、先生方や保護者の皆様に支えていただき、無事開催されたことはとても嬉しかったです。特に、競技は感染症対策を講じた、密にならない種目を増やすなど十分な対策の中で行えました。例年と違った特別な雰囲気の中で、より盛り上がる体育祭となりました。

表彰式では、応援の部、競技の部、デコの部、衣装の部、マナーの部、総合の部の6部門の結果が発表され、互いに健闘を称え合いました。3年生にとっては最後の体育祭でしたが、スローガンの通り、最高の思い出になったと思います。そして、重ねてになりますが、体育祭が開催できたことと、先生方や保護者の皆様を始めとした関係者の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

放課後学習会

文化祭（合唱コンクール）

自転車鍵かけ運動

文化祭について（合唱コンクール）

書記 古林 卓巳

感染症拡大の影響で、今年は文化祭を見直し、合唱コンクールのみを行いました。

文化祭スローガンは、『みんなの歌声で今、新たな歴史を刻め』です。このスローガンには、感染症対策を講じた新しい形での文化祭（合唱コンクール）を、みんなの美しい歌声で創りあげていこうという気持ちが込められています。

先生方や保護者の皆様のご協力のもと、密を避けるために会場を例年の体育館から加茂文化ホール ラメールに変更しました。また、生徒一人一人はマウスシールドを着用し、十分に間隔をとって歌うなど万全の感染症対策の中で行いました。

生徒会ではこのコンクールに向けて、全校で協力し1つのものを創りあげる活動を取り入れたいと考え、全校壁画の作成を企画しました。全校から募集したデザイン案をもとに、大きな用紙（5m×6m）に絵を描き、それを全校生徒分に切り分け色塗りを行いました。色塗りが終わると、パズルのようにして組み合わせ、1つの壁画を完成させました。同じ色でも人によって色合いが違い、それがいい味となって素敵な壁画が創りあげられたと思います。この壁画は、当日、ステージ正面に飾りました。

合唱コンクールでは、金賞や銀賞などクラスによって結果はさまざまでしたが、全てのクラスに共通していたことは、「素晴らしい合唱ができた」ということだと思います。1年生は明るく元気な合唱を、2年生は3年生にも負けないパワフルな合唱を、3年生は3年間の集大成として観衆に感動を与える合唱をすることができました。

一人一人が、クラスが、全校が一体となって、真剣に取り組んできた成果が現れた、素敵な文化祭になりました。来年も同じように、素敵な文化祭となることを願っています。

放課後学習会について

会計 落合 創也

私たちが新たに始めた取組の1つが放課後学習会です。この活動を始めた目的は、全校生徒の学習意欲の向上と、協力して学習をする場をつくることです。現在、定期テストの部活動停止期間に合わせて、学年別に教室を開放しています。それぞれの教室に2名の執行部員を先生役として配置し、質問をしやすい雰囲気をつくるなど工夫をしました。

これまでに計4回の勉強会を行い、いずれの回でも多くの生徒が集まり有意義な活動をすることができました。これからも学びに積極的な三刀屋中生を目指し、素敵な学校作りに携わっていきたいです。

執行部による挨拶運動・自転車鍵かけ運動について

副会長 堀江 若菜

本校では、生活委員会が週3日の挨拶運動を行っています。執行部としても、より学校が明るく、一人一人が挨拶ができる学校にしていきたいと考え、生活委員会が活動を行っていない週2日に執行部による挨拶運動を始めました。私が副会長に立候補した時に公約に掲げていたもので、必ず実現したい活動でした。私たちから積極的に挨拶していくことで、全校の皆さんも目を見て挨拶をしてくれるようになったことを実感しています。

また、今年度本校は「自転車鍵かけ・マナーアップモデル校」に選ばれました。そこで、毎週2回、生徒の登校時に自転車の鍵かけチェックを実施するなど啓発活動にも取り組みました。そして、チェックするだけでなく、施錠率を昼の放送で呼びかけ、全校で「自転車の施錠率100%」を目指しました。現在では、100%を達成する日もあり、意識をしている生徒が増えています。

吹奏楽部

部活動について

書記 勝葉 はな

本校の部活動は、運動部5部、文化部2部の合計7部で活動しています。今年は、感染症拡大の影響により、練習が思い通りにできず、苦しい日々もありました。追い打ちをかけるように県総体や県のコンクールも中止になり、特に3年生はこれまでの成果を発揮する場を失い、涙を流すことも少なくありませんでした。しかし、それぞれが気持ちを整理し、時期を変更し行われた市・町総体や、演奏会等に向けて諦めずに取り組みました。

私が所属する吹奏楽部では、録画審査で行われた全日本管楽合奏コンテストに出場しました。多くの強豪校がひしめき合う中でしたが、部員全員で前向きに練習を重ねた結果、全国大会出場を果たしました。苦しい中でも、仲間とともに諦めずにとり組んだ部活動での経験は、私の大切な宝物です。